

令和2年度 高崎長期研修 小学校国語科

文学的な文章を読む力を 積み上げ育てる小学校国語科指導 ～学習用語の習得と活用を目指した 系統性のある授業を通して～

高崎市立東部小学校 中澤麻紀子

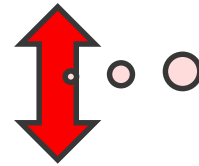
登場人物の気持ちを読み取る



登場人物の気持ちの読み方の指導

「物語の学習で何を学びましたか？」

読む力の育成



ずれ

人物の気持ちが
分かったよ



内容の理解

紹介カードを
きれいに
作ることができたよ



学習活動

高崎市の課題

令和元年度高崎市学力調査・小学校国語

○ 全ての領域 全国平均 ↑

△ 「登場人物の気持ちを読み取る」

学習指導要領 指導内容の系統性の重視

小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説国語編
第1章2(3)学習の系統性の重視

国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていくとともに、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、能力の定着を図ることが基本を基本としている。

文学的な文章の指導における課題

1. 指導内容がつかみにくい
2. 系統がわかりにくい
3. 児童に付けたい力を捉えにくい



課題の解決と目指す児童像

文学的な文章を読む力を積み上げ育てていく児童

1. 指導内容がつかみにくい

指導内容とその系統性の明確化

2. 系統がわかりにくい

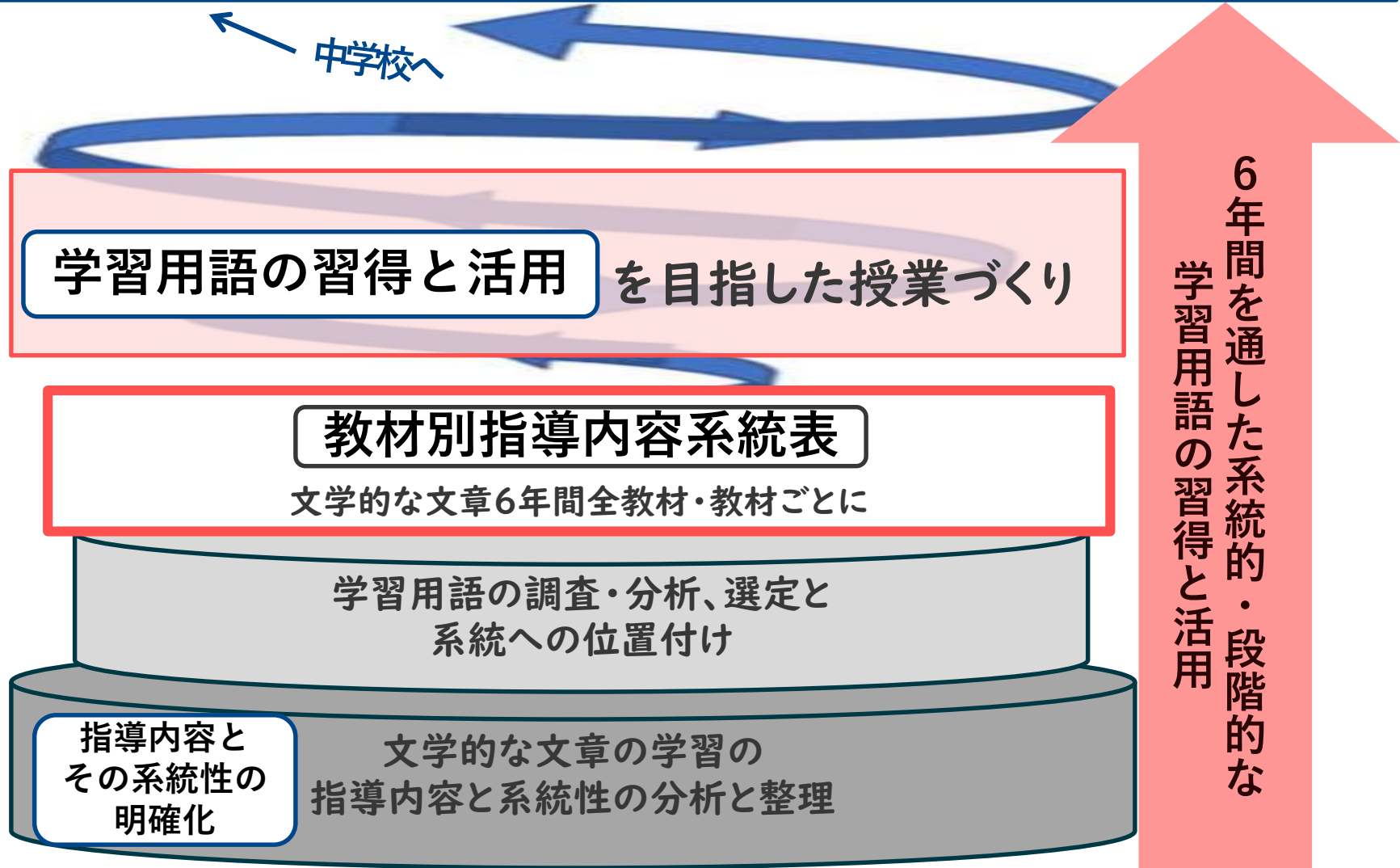
教材別指導内容
系統表

3. 児童に付けたい力を捉えにくい

学習用語の
習得と活用

研究の全体・総括仮説

文学的な文章を読む力を積み上げ育てていく児童



仮説

文学的な文章を読む力を積み上げ育てていく児童

読み方の自覚

仮説 1

単元を通して、学習用語を
読みの観点として習得、活
用できることを目指した授
業を行うことで、児童に身
に付けた読み方を自覚させ
ることができるであろう。

学びのつながりと 積み上げの自覚

仮説 2

系統的な視点を持ち、学習
用語の習得、活用を目指し
た授業を行うことで、児童
に学びのつながりや積み上
げを自覚させることができ
るであろう。

学習用語の習得と活用 を目指した授業

学習用語とは

学習用語 読みの方法や技術の包括的な概念

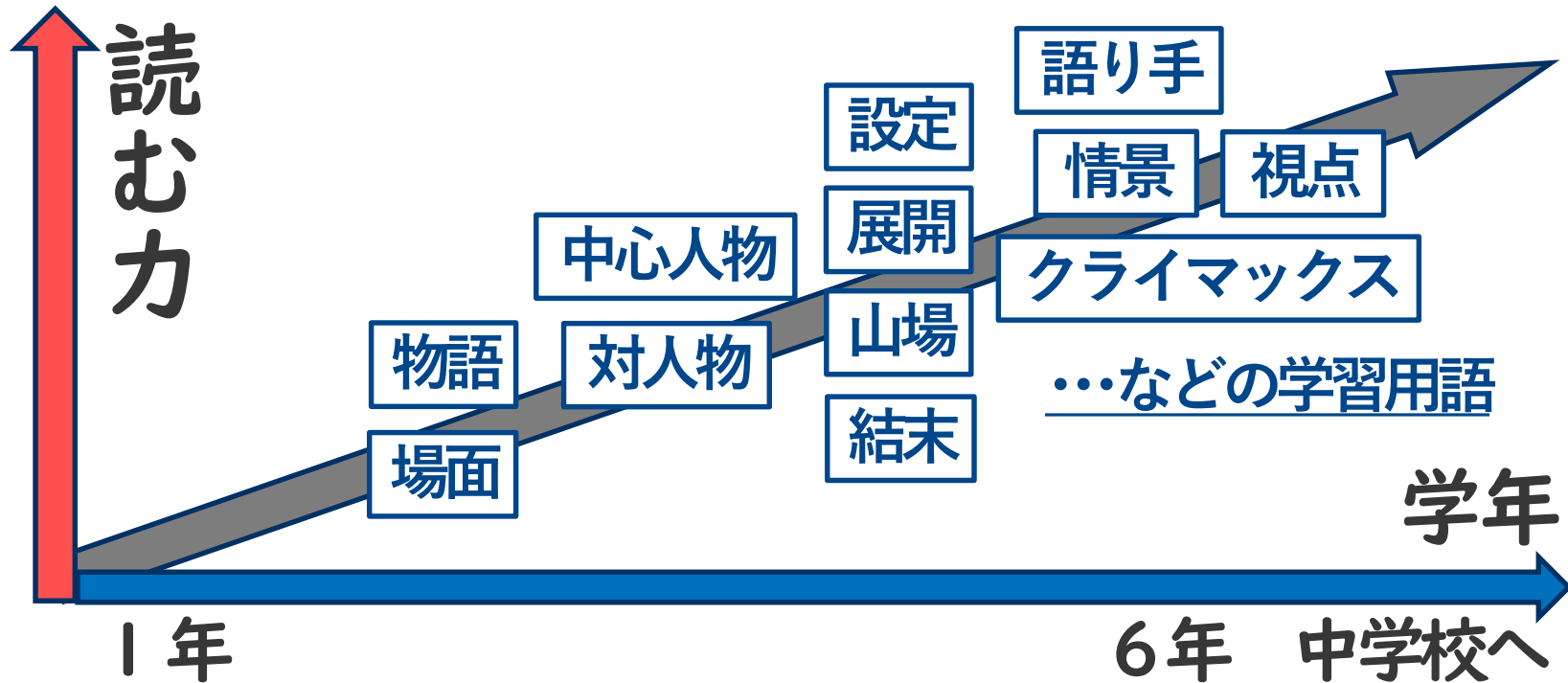
児童が読む時
読みの観点
読み解くカギ

児童の自覚
「読み方」
共通認識

例えば「場面」「中心人物」「会話文」「地の文」など

学習用語の習得と活用

物語を読むための**道具**を
1年から6年生までに獲得しながら
読む技術を磨き、読む力を育てていくイメージ
道具→読み方→学習用語



教材別指導内容系統表

※添付資料 1

小学校・文学的な文章		教材別「学習用語」		指導内容					
学年	学習内容の位置付け ※初出の学年	教材 教育出版	教材名	習得を目指す学習用語	構成を捉えて読む力	人物を捉えて読む力	視点を捉えて読む力	表現の工夫を捉えて読む力	文種を捉えて読む力
1	お話 「3年から「物語」 人物 （「2年から「登場人物」） 登場	おはなしたくさんきいたな こまろんとありとんのこまろつ けむりのきしゃ おおきなかぶ けんかした山 スイミー お手のみ							
2	登場人物 「1年では「人物」」 できごと あらすじ 絵本文（挿絵は表） 挿絵 1つと2つ・表紙	「えいっ」 きつねのおきやくさま わにのおいさんのたからもの ないた赤おに かきこじぞう アレクサンダーとぜんまいねずみ							
3	物語 （「1年では「お話」） かの人物・対人物 挿絵 挿絵・挿絵・人物 地の文（全編文は2年）	白い のら あずすけらとあつたおの モチモチ おにのぼうし							
4	物語のしくみ 設定・展開・山場・結末 語り手	白い 一つの花 ごんぎつね							
5									
6									
伊能忠敬	日記								

系統的に位置付けた
各学年教材ごとの
学習用語と指導内容

学習用語と指導内容の
つながりと積み上げ

中学校へ

実践授業

- 5 年 「大造じいさんとがん」
- 単元を通して習得を目指す学習用語
「山場」 「クライマックス」
- 本時の学習に必要なため、意図的に取り上げる既習に該当する学習用語
「場面」 「中心人物」 「設定」 「展開」
「結末」 「物語のしくみ」

※添付資料 2 学習用語スペシャルシート

実践授業・基本的な授業方針



みんなで考え、自分たちの言葉をつないで学習していくよ



叙述の表現にこだわり、みんなで考えるよ

- ・ 児童の主体的な学びを支援
- ・ 叙述を基にした読み取り
- ・ 学習用語は知ることが目的ではなく、読むことを通して習得、活用することが目的

実践授業・単元の流れ

事前

第1時

- ・レディネステスト
- ・授業オリエンテーション
- ・単元のめあてをつかむ
- ・学習用語の確認

2

場面を読み取る

3

物語のしくみを読み取る

4

設定を捉え、読み取る

6・5

山場にむかう中心人物の心情を読み取る

7

クライマックスの一文を読み取る

8

結末から、中心人物の変化について読み取る

9

- ・作品全体に関する自分の思いや考えをもち、友達と共有する
- ・学習用語を意識した学習を振り返る

実践授業 第7時 読みを伝え合う児童

読みの伝え合いが進んだ状態

そろそろ出た意見を検討したいなあ

△△さんとは違う一文を選びました。教科書の…

〇〇さんと考えが同じだけど理由が違って…

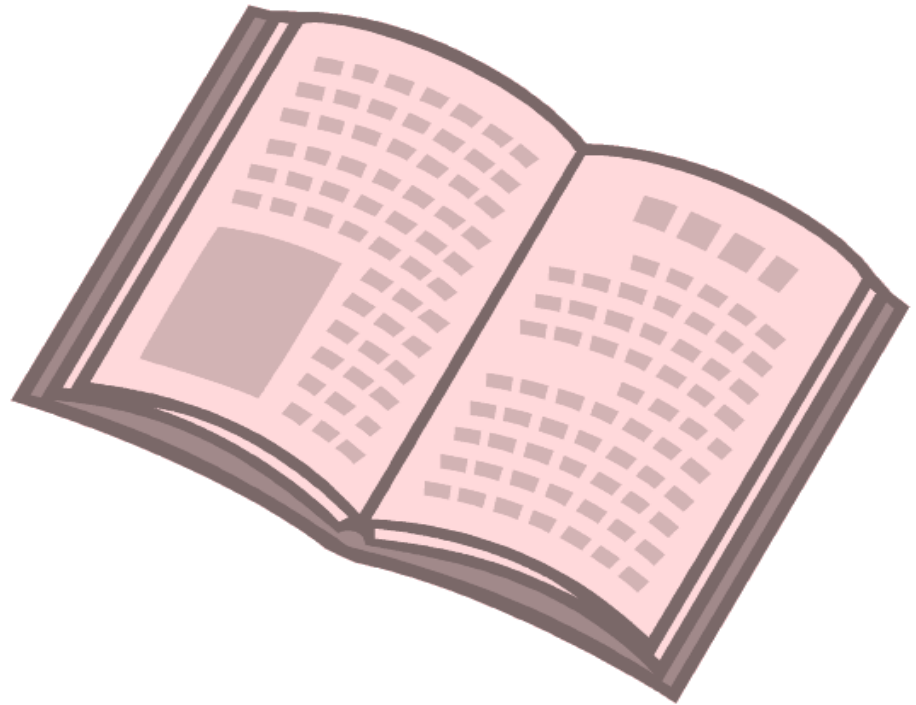
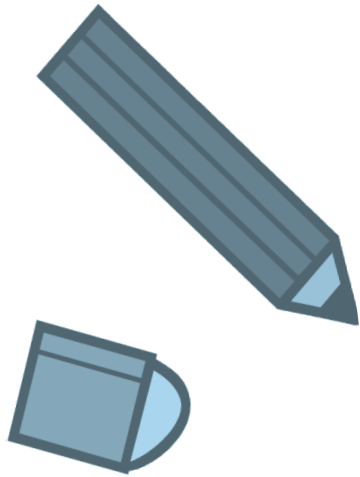
ぼくはみんなとは全然違う一文を選びました。…

黒板を見て友達の読みと比較しながら、話したり、聞いたりしている

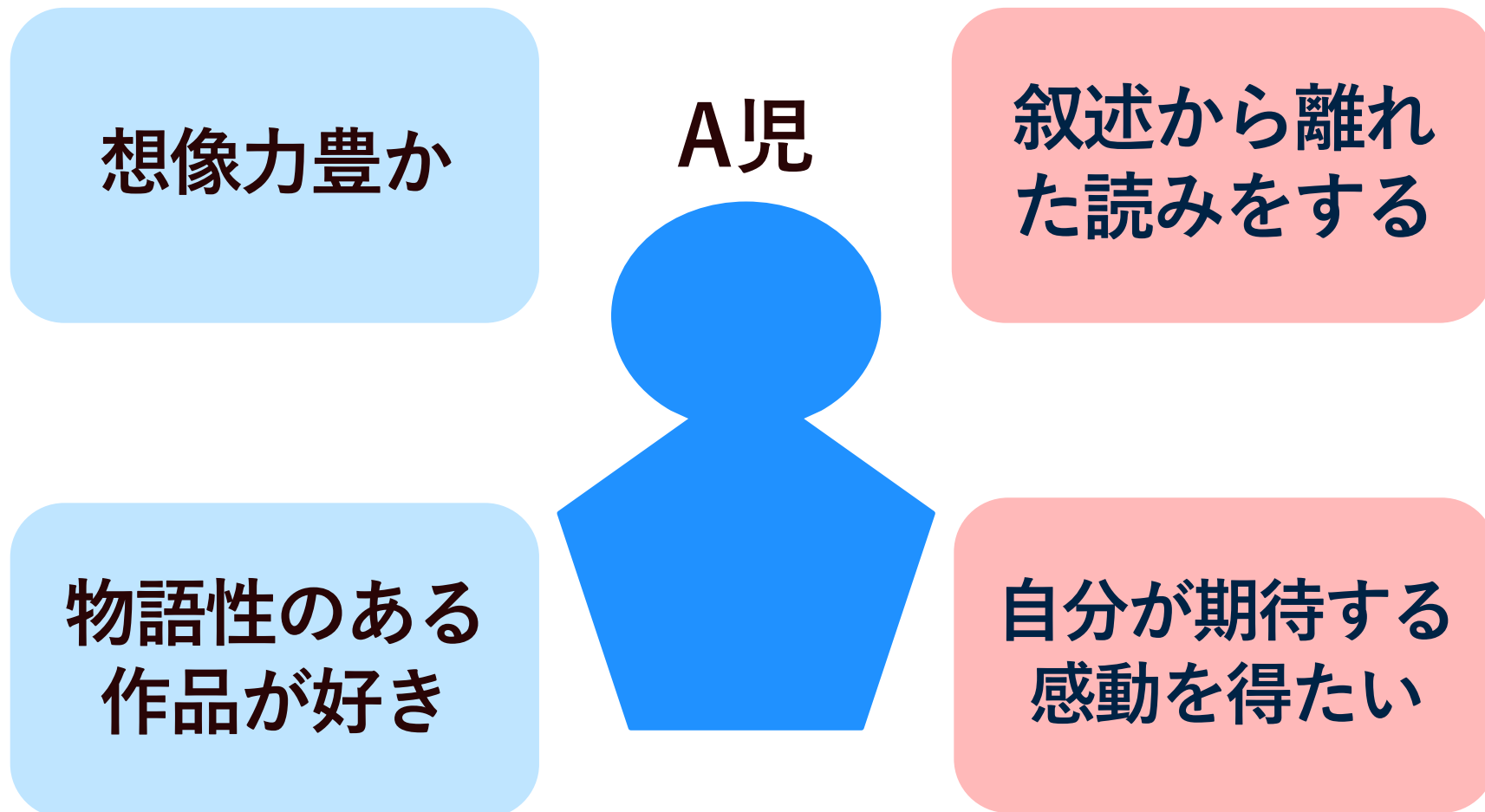
必ず叙述を基に読み 考えている

さらに様々な読みを伝え合って…

結果と考察



①各時間の振り返りの分析 抽出 A 児



①学習用語により読み方を学んでいく A 児

第1時

2

ぼくはやっぱりクライマックスで大きく変わったことがよくわかった。大造じいさんと残雪にはきずながうまれたと思う。

大造じいさんは優しい人になる。

3

クライマックスで変わるのは、きずなだ
と思う。

4

設定を読むと話の大体がわかり山場や結
末がすごく気になる。

6

山場は大造じいさんのきおくにのこるん
だろう。

7

大造じいさんと残雪にはきずながうまれ
たと思う。

8

大造じいさんはがんを絶対にとる気持ち
だったが、残雪の行動で堂々と戦う気持ち
に変わったことがわかった。

9

中心人物の何かが変わる、心と考えが変
わりいい話でした。結末の意外さにびっ
くりしましたが、戦いがずっと続くとい
いなと思います。物語のみりよくや考え
が変わったり深まったりしました。

学習用語を読みの観点として 読み進めていることが分かる

ぼくはやっぱりクライマックスで大きく
変わったことがよくわかった。大造じい
さんと残雪にはきずながうまれたと思う。
大造じいさんは優しい人になる。

クライマックスで変わるの、きずなだ
と思う。

設定を読むと話の大体がわかり山場や結
末がすごく気になる。

山場は大造じいさんのきおくにのこるん
だろう。

大造じいさんと残雪にはきずながうまれ
たと思う。

大造じいさんはがんを絶対にとる気持ち
だったが、残雪の行動で堂々と戦う気持
ちに変わったことがわかった。

中心人物の何かが変わる、心と考えが変
わりいい話でした。結末の意外さにびっ
くりしましたが、戦いがずっと続くとい
いなと思います。物語のみりよくや考え
が変わったり深まったりしました。

A児の期待、想像による 叙述から離れた思い込みの読み

ぼくはやっぱリクライマックスで大きく変わったことがよくわかった。大造じいさんと残雪にはきずながうまれたと思う。

大造じいさんは優しい人に変わる。

クライマックスで変わるのは、きずなだ
と思う。

設定を読むと話の大体がわかり山場や結末がすごく気になる。

山場は大造じいさんののきおくにのこるんだらう。

大造じいさんと残雪にはきずながうまれたと思う。

大造じいさんはがんを絶対にとる気持ちだったが、残雪の行動で堂々と戦う気持ちに変わったことがわかった。

中心人物の何かが変わる、心と考えが変わりいい話でした。結末の意外さにびっくりしましたが、戦いがずっと続くといいなと思います。物語のみりよくや考えが変わったり深まったりしました。

読みの観点と、山場に関わる全体での読みにより、 叙述に基づいた読みをもてた

ぼくはやっぱリクライマックスで大きく変わったことがよくわかった。大造じいさんと残雪にはきずながうまれたと思う。

大造じいさんは優しい人に変わる。

クライマックスで変わるのは、きずなだ
と思う。

設定を読むと話の大体がわかり山場や結末がすごく気になる。

山場は大造じいさんのきおくにのこるんだろう。

大造じいさんと残雪にはきずながうまれたと思う。
← 叙述に基づいた読みへ

大造じいさんはがんを絶対にとる気持ちだったが、残雪の行動で堂々と戦う気持ちに変わったことがわかった。

中心人物の何かが変わる、心と考えが変わりいい話でした。結末の意外さにびっくりしましたが、戦いがずっと続くといいなと思います。物語のみりよくや考えが変わったり深まったりしました。

① A児 まとめ

学習後の振り返りから

この学習で読む力が上がりました
ことが少し楽しくなりました。

設定の場面で物語の設定
を読むってことがわかった

読む力が上がった実感

読み方を学んだ自覚

学習用語を讀みの観点として読み進めたことで
叙述に基づいた読み取りができるようになり、
読み方を学んだ自覚をもつことができた

②読む力を積み上げ育てている」児

第1時

理由は、中心人物は大造じいさんだと思いました。
 理由は、残雪も物語の中に何度も出てきていた。
 けれど、大造じいさんの気持ちが大造じいさん変化した。
 して、いたからです。そのことは、大造じいさんの
 の行動や、大造じいさんから見えた情景から分
 かりました。

第7時

物語の中で、大造じいさんから見た景色
 が、大造じいさんの気持ちが大造じいさん変化した。
 けれど、大造じいさんの気持ちが大造じいさん変化した。
 して、いたからです。そのことは、大造じいさんの
 の行動や、大造じいさんから見えた情景から分
 かりました。

第8時

情景が分かります。上り物語が分かりやすくなると
 分かります。上り物語が分かりやすくなると
 分かります。上り物語が分かりやすくなると
 分かります。上り物語が分かりやすくなると

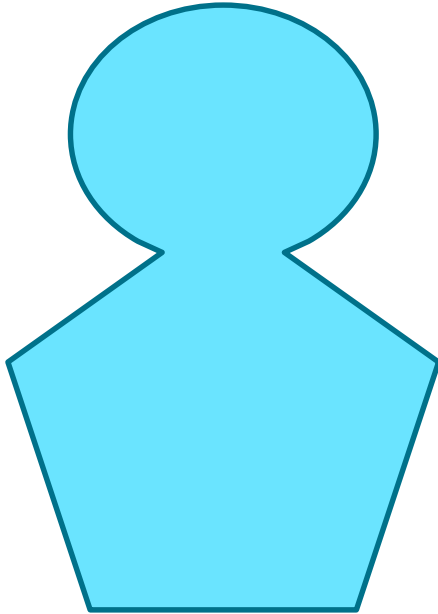
単元
終了後

今回の「大造じいさんとがん」の読み取りの学習では、何を学びましたか。
 場面分けの大切さや、物語の「設定」、展開、「山場」、
 「結末」の読み取りの仕方になることです。
 また、情景の移り変わりにも注目することです。

②読む力を積み上げ育てている「児

学習用語「情景」について

「児



情景は、4年生の時に習ってから読む時は意識している

情景を読み取ると、読み取らない時よりも人物の気持ちがよくわかるようになる

「これ情景だ」と、情景を忘れて読んでいて気付く時もある

情景を一カ所見付けると、また見付けたいから丁寧に言葉の意味を考えるようになった

自分の力で情景に気付くと「うれしい」「自分一人で読めた」「自分で読み深められた」

② J 児 まとめ

学びのつながり積み上げ

情景は、4年生の時に習ってから読む時は意識している

読み方の自覚

情景を読み取ると、読み取らない時よりも人物の気持ちがよくわかるようになる

「これ情景だ」と、情景を忘れて読んでいて気付く時もある

言葉にこだわる力

情景を一カ所見付けると、また見付けたいから丁寧に言葉の意味を考えるようになった

読む意欲、喜び

自分の力で情景に気付くと「うれしい」「自分で読めた」「自分で読み深められた」

② J 児 まとめ

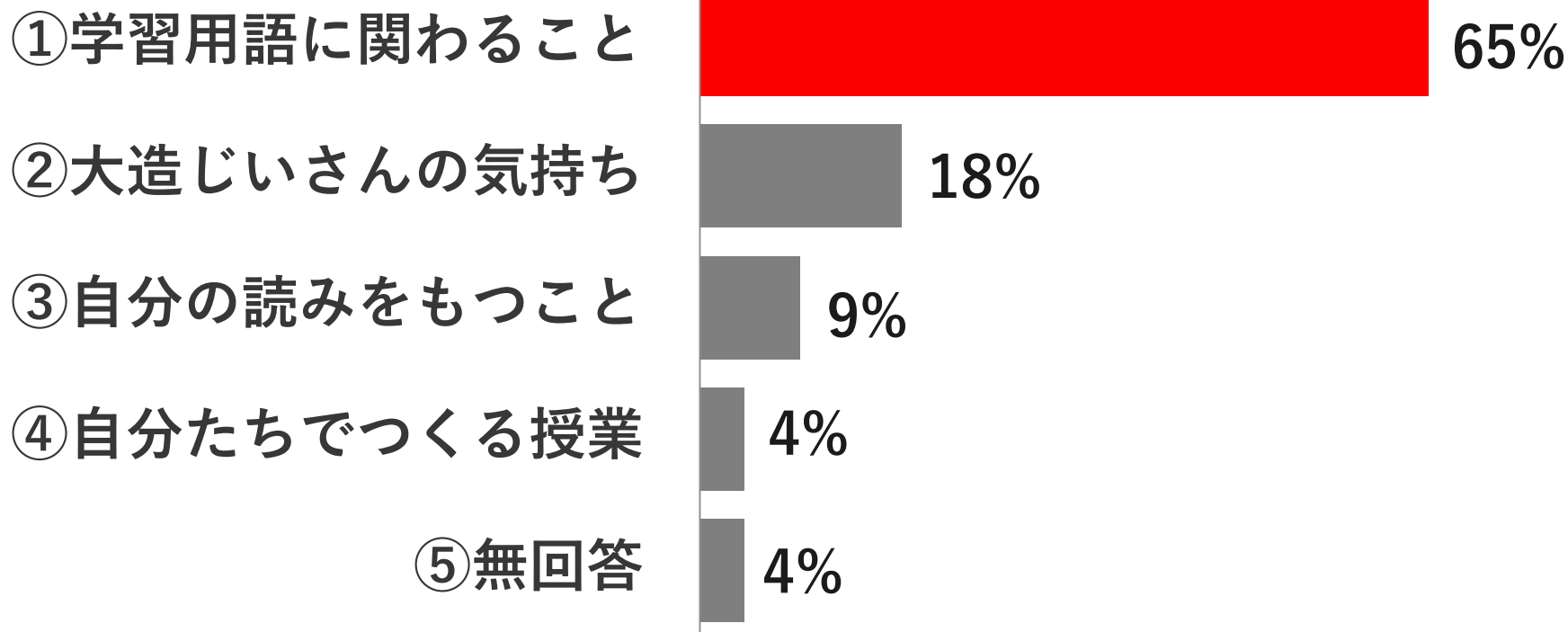
読む意欲、喜び

習った読み方を、
他の物語で試したい

読む意欲や喜びの実感こそ、
学びをつなげ、積み上げていくために
核となるものなのではないか

④ アンケート 読み方の自覚

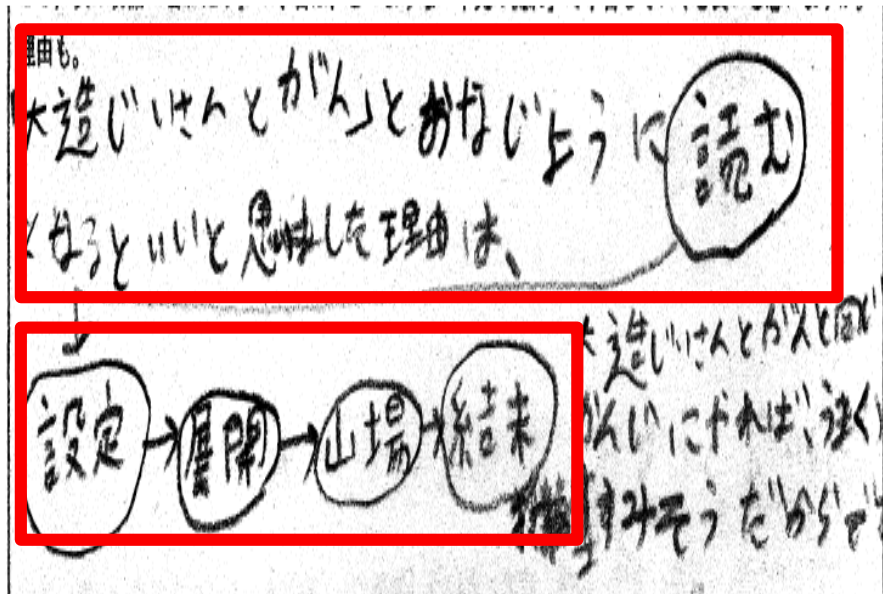
調査「今回の学習で何を学びましたか」回答分析



「読み方を学んだ」という自覚

③ アンケート 学びのつながりと積み上げ

調査「次の学習ではどのように学習しますか」



理由も。と、物語のしくみ
場面を分けて、中心人物をつかんでいくと思う。
理由は、物語文は中心人物をつかみ場面、物語
のしくみを分けるとその時どうなたかがわかりやすい
から。

既習の学習用語を次の物語の学習でも
活用して読もうとする意識

⑤ アンケート 分かる・読める実感

調査「学習用語を意識しながら読むことは必要ですか」

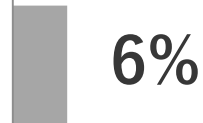
必要 29名

どちらとも言えない1名 児童30名中

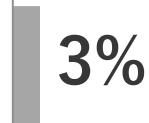
①「よく分かる・良く読める」から



②読む時に目安や投げり所になるから



③共通の言葉として機能するから

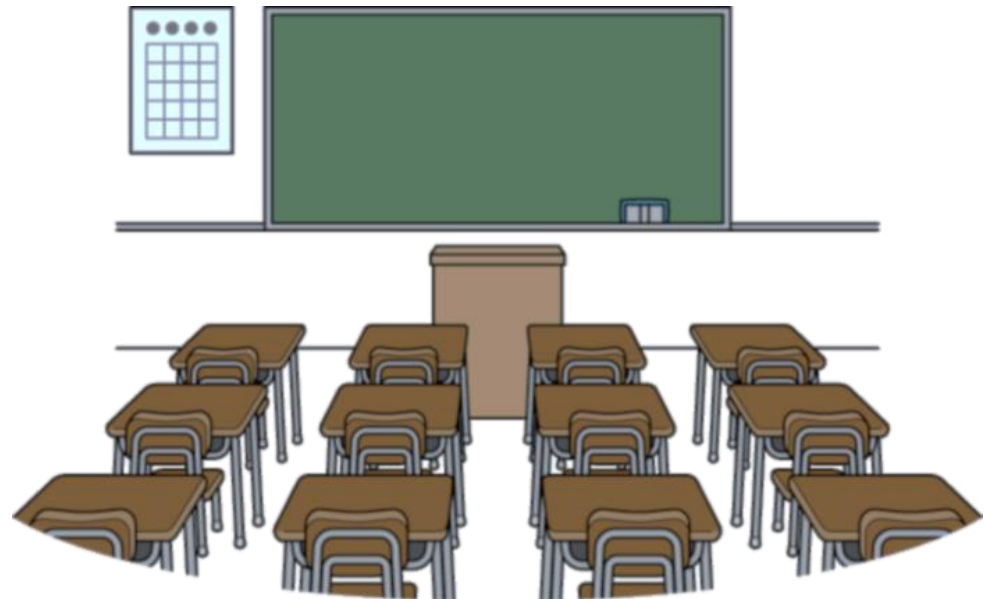


④その他



「分かる」「読める」という実感

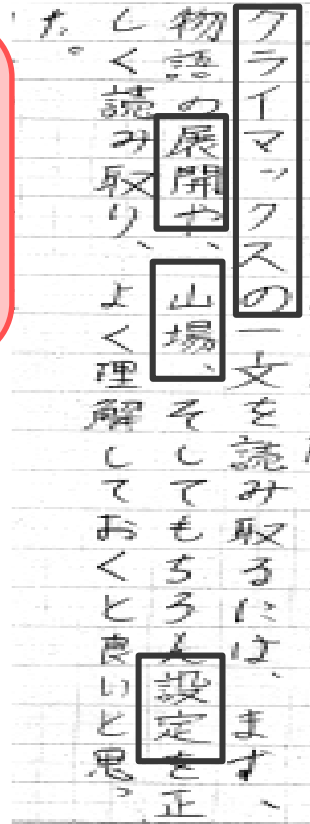
研究のまとめ



研究の成果

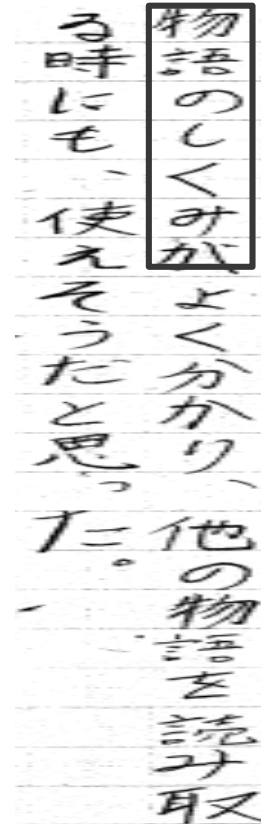
読み方の自覚

物語の読み方が
分かった



学びのつながりと 積み上げの自覚

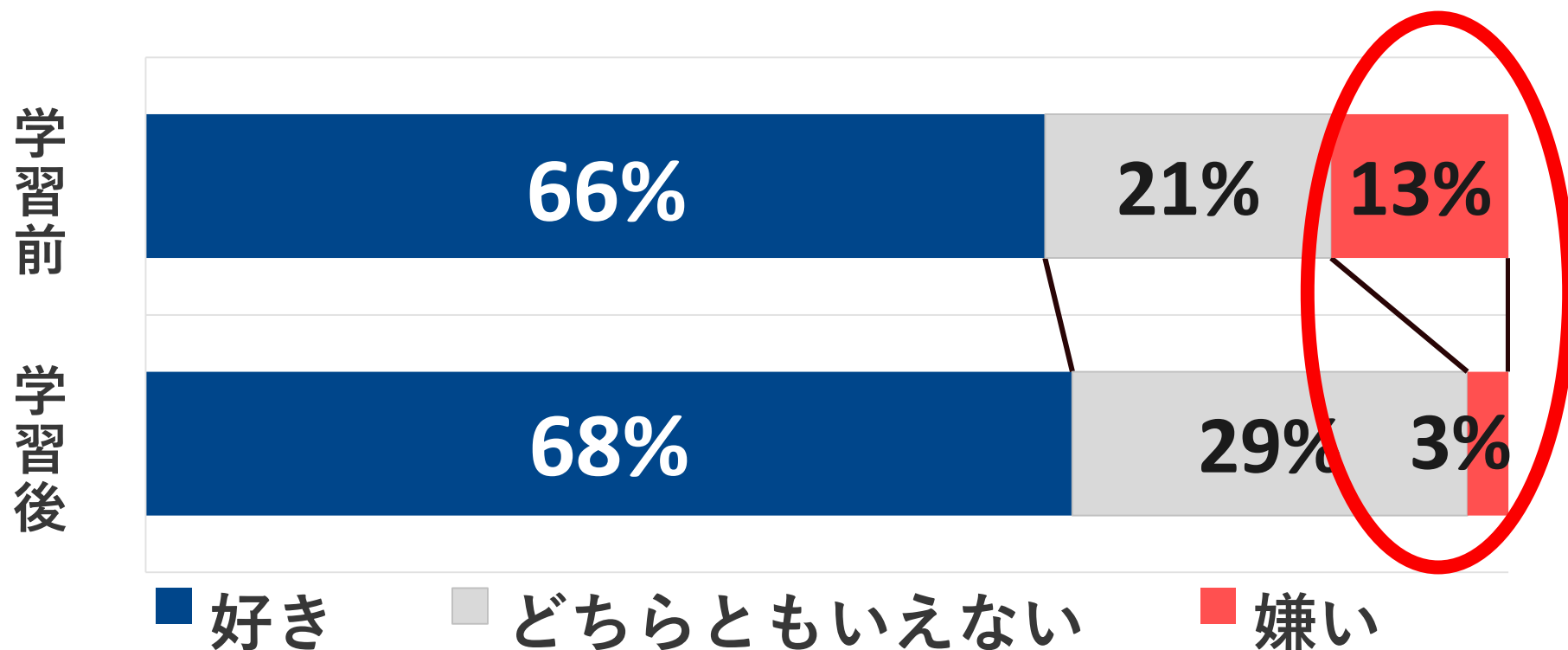
学んだ読み方は
次の学習でも使
えるね



6年間を通して読む力を積み上げ育てていく

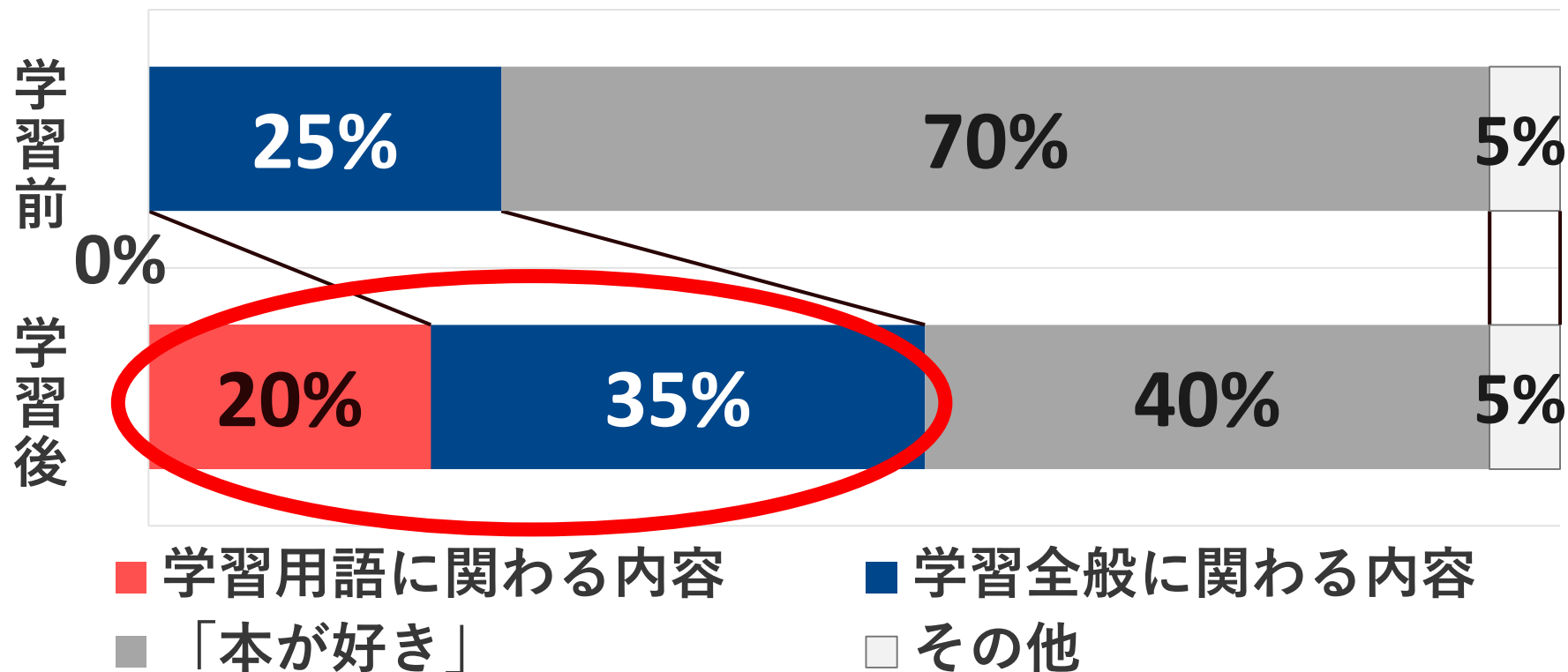
物語の学習への意識の変容

調査「物語の学習は好きですか」



物語の学習への意識の質的な変容

調査「物語の学習は好きですか」
→回答「好き」の理由内訳



教師にとっての有用性

教材別指導内容系統表

1.指導する教材の指導内容と学習用語がすぐにつかめる。

2.既習内容の定着を学習用語の習得と活用状況で確認することができる。

3.教材研究、指導法を工夫する時間を確保できる。

スムーズな
教材研究

確かな
指導

業務の
効率化

その他の成果 主体的な伝え合いの効果

成長の自覚

今日、成長したことは、自分の意見をはっきりいえたことです。なびかというところ、うれしかったからです。

学びの自覚

自分で発言すると、ちがう意見がもつとしっかり聞けました。

学ぶ意欲

わしくいえるように
かんばろうと思いました。

良さや喜び

今日気付いたことは発言のよさです。理由を述べるとみんなが共感し、つけたしでもうえる。なので明日も手を上げたい。

今後の展望

本研究における継続的な取組

系統的な読む力の育成
豊かな解釈、表現



学習用語の習得と活用の展開

説明文
「書くこと」との関連



組織的・協力的な取組

職員同士の支え合い
教師自身の学ぶ良さや喜び





ご清聴ありがとうございました

学習用語を
意図的に取り入れ
ることから
始めてみませんか

